

第1章 調査の目的・内容

1. 調査の目的

本調査は、東村山市の地域福祉計画を策定するにあたり、市民の生活及び介助の状況や福祉に対する考え方等についてのご意見を伺い、計画の基礎資料とするために実施したものである。

2. 調査の種類と調査対象

調査にあたっては、次の4種類のアンケート調査をおこなった。

調査名	対象者	標本数
一般市民	64歳以下の市民から無作為で抽出された者	2,000人
高齢者	65歳以上の市民から無作為に抽出された者	1,300人
障害者等	障害者手帳を有している者及び特定疾病医療給付制度等の手続きをしている者から無作為で抽出された者	700人
地域福祉関係者	保健推進員、民生児童委員、社協・福祉協力員	882人

3. 調査の方法と回収状況

平成 16 年 12 月中旬にアンケートを配布し、回収状況は以下のとおりである。

調査名	配布数	回収数	回収率
一般市民	2,000 票	1,117 票	55.9%
高齢者	1,300 票	1,028 票	79.1%
障害者等	700 票	441 票	63.0%
地域福祉関係者	882 票	384 票	43.5%
合 計	4,882 票	2,970 票	60.8%

4. 調査項目

4 つのアンケートの主たる調査項目は以下のものである。

一般市民	高齢者	障害者等	地域福祉関係者
1. 属性	1. 属性	1. 属性	1. 属性
2. 健康に関すること	2. 家族の状況	2. 障害等の程度・内容	2. 住まいの地域状況
3. 福祉サービス	3. 健康・医療に関すること	3. 日常生活の状況	3. 地域住民からの相談
4. 地域との関わり	4. 日常の過ごし方	4. 福祉サービスの利用状況	4. 地域活動
5. 地域活動等	5. 保健・福祉サービス	5. 保育・療育・教育	5. 市全体の今後の施策
6. 今後望まれること	6. 介護保険	6. 仕事・就労等	
	7. 地域活動等	7. 今後のまちづくり	
	8. 今後のこと	8. 主たる介助者の状況	

5. 本報告書の見方等

図表中の「N」は、設問への回答者数を表している。

回答の比率は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して算出している。したがって、回答者比率の合計が100%にならない場合がある。

回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出している。したがって複数回答(「いくつでも等」)の設問については、すべての回答比率の合計が100%を超える場合がある。

クロス集計は、「一般市民」と「高齢者」について「年齢」を軸におこなっている。「障害者等」及び「地域福祉関係者」についてはクロス分析するにはサンプル数が少ないため、分析上必要に応じて行うものとしている。